

ひょうご環境未来会議

R6.11.28

兵庫県環境部 | SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
はSDGsに取り組んでいます

I 兵庫県環境基本計画の見直し

兵庫県環境基本計画

- 「ひょうごビジョン2050」実現をめざす**環境分野の基本計画**
- 兵庫県環境保全条例第6条に基づく基本計画
- 現行計画（第5次）は平成31年に策定

- 社会情勢や環境課題の変化、個別計画の改定状況などに対応するため、**現行計画を改定予定**（改定後の計画期間：**2050年頃を展望**しつつ、2030年度までの6年間）

社会情勢や環境課題の変化

気候危機、脱炭素
非化石エネルギー
生物多様性の損失
脱プラスチック
経済・社会システムの転換 等

個別計画の改定

兵庫県地球温暖化対策推進計画(R4. 3)
兵庫県栄養塩類管理計画(R4. 10)
瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画(R5. 11)
兵庫県資源循環推進計画(R6. 1)
生物多様性ひょうご戦略(改定予定) 等

2050年に社会の中心を担う**将来世代の意見を取り込み**ながら
計画案を検討する必要

「ひょうご環境未来会議」を開催

ひょうごビジョン 2050

第6次兵庫県環境基本計画(案) ←

環境基本計画を実現するための個別計画

兵庫県地球温暖化対策推進計画

生物多様性ひょうご戦略

鳥獣保護管理事業計画

新ひょうごの森づくり

災害に強い森づくり

兵庫県資源循環推進計画

兵庫県分別収集促進計画

兵庫県バイオマス活用推進計画

兵庫県自動車NOx・PM総量削減計画

瀬戸内海の環境の保全に関する兵庫県計画

兵庫県栄養塩類管理計画

化学的酸素要求量、窒素及び燐に係る総量削減計画

環境率先行動計画

Ⅱ ひょうご環境未来会議 概要

ひょうご環境 未来会議！

未来を担うあなたと考えたい、
2050年のひょうごの環境。



会議の参加者を募集します。

環境に関する知識は必要ありません。気候変動の問題に興味がある方、自然や生きものが好きな方はもちろん、新しい人とのつながりを作りたいという方も大歓迎です！

日時・場所

下記の日程より、ご都合の良い日程を選んでお申込みください。

- | | | |
|------|----------------------|--|
| 豊岡会場 | 6月1日(土) 10:00~16:00 | 豊岡市民プラザ 市民活動室CD map
(豊岡市大手町4-5 アイティ7F) |
| 神戸会場 | 6月8日(土) 10:00~16:00 | 兵庫県学校厚生会館 2階大会議室 map
(神戸市中央区北長狭通4-7-34) |
| 姫路会場 | 6月15日(土) 10:00~16:00 | 姫路・西はりま地場産業センター 501室 map
(姫路市南駅前123) |
- *参加費は無料です。会場までの交通費は個人負担となります。

定員 各会場 20名程度 *応募者多数の場合は、ご参加いただけない場合があります

対象 県内在住・在学・在勤の学生・社会人の方

申込方法 二次元バーコードまたは下記URLよりお申込みください。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=ssKVaxG-YEu2AqXYF-uEU99CEY10_UZNM5_eb5NZiK1pUMThUV0IZOUczVkpHVIFTO1M2WUuXtJfQVv4u

申込期間 令和6年4月15日(月)~令和6年5月17日(金)



主催：兵庫県 協力：公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

ひょうご環境 未来会議！

地球規模の気候変動が私たちの身近にも影響を及ぼすようになってきています。生物多様性の損失やプラスチックによる海洋汚染など、直面する環境課題を解決しながら、将来にわたる持続可能な環境・経済・社会を実現しなければなりません。県民の皆さんの豊かで質の高い生活、健全快適な環境を実現するためには、どのような取り組みや施策が必要となるのか、皆さんの気づきやアイデアを、2050年を展望する兵庫県環境基本計画に取り込みたいと考えています。ひょうご環境未来会議で、2050年を担う皆さんの意見を聞かせてください。

当日のプログラム

- 1 オリエンテーション** 参加者の自己紹介
- 2 必要な知識の事前学習** 環境に関する世界や国の動向や兵庫県での取組・現状等、専門家の先生から必要な知識を学びます。
お昼休憩 (昼食は各自でご用意ください)
- 3 テーマ決定・グループワーク** 各テーマの「めざす姿」の実現に向け、ファシリテーターからアドバイスをもらいながら、取組のアイデアや意見を出し合います。
- 4 発表** グループごとに議論の結果を発表します。発表内容は「兵庫県環境基本計画」「生物多様性ひょうご戦略」の策定に活用します。

グループワークのテーマ

以下の6つのテーマから、関心のあるテーマを選んでグループワークを行います。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| CO ₂ ↓
脱炭素 | 1 環境性能の高い建物をもっと増やすには？ |
| | 2 交通・移動の温室効果ガス排出を実質ゼロにするには？ |
| 自然共生 | 3 生物多様性の損失を止め、回復させるには？ |
| | 4 豊かな森林・里山を保全するには？ |
| 資源循環 | 5 家庭から出るごみの量を減らすには？ |
| | 6 プラスチックの資源循環を進めるには？ |

問合せ先

兵庫県環境部環境政策課政策班
TEL：078-362-4421 / Email：kankyouseisakuka@pref.hyogo.lg.jp

Ⅱ ひょうご環境未来会議 概要



会議の参加者を募集します。

環境に関する知識は必要ありません。気候変動の問題に興味がある方、自然や生きものが好きな方はもちろん、新しい人とのつながりを作りたいという方も大歓迎です！

日時・場所

下記の日程より、ご都合の良い日程を選んでお申込みください。

豊岡会場 6月1日(土) 10:00～16:00 豊岡市民プラザ 市民活動室CD [map](#)
(豊岡市大手町4-5 アイティ7F)

神戸会場 6月8日(土) 10:00～16:00 兵庫県学校厚
(神戸市中央区)

姫路会場 6月15日(土) 10:00～16:00 姫路・西はりま
(姫路市南駅前)

* 参加費は無料です。会場までの交通費は個人負担となります。

定員

各会場 20名程度 *応募者多数の場合は、ご参加



グループワークのテーマ

以下の6つのテーマから、関心のあるテーマを選んでグループワークを行います。



脱炭素

- 1 環境性能の高い建物をもっと増やすには？
- 2 交通・移動の温室効果ガス排出を実質ゼロにするには？



自然共生

- 3 生物多様性の損失を止め、回復させるには？
- 4 豊かな森林・里山を保全するには？



資源循環

- 5 家庭から出るごみの量を減らすには？
- 6 プラスチックの資源循環を進めるには？

Ⅲ ひょうご環境未来会議 実施内容

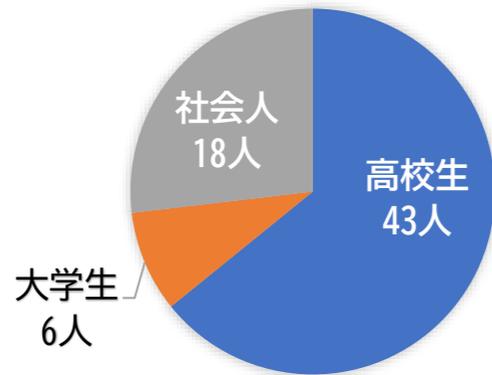
協力

(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター、大阪大学大学院工学研究科 原圭史郎教授(学術指導)

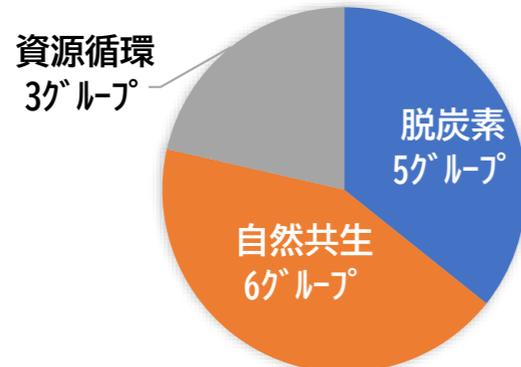
参加者

学生を中心に、
15歳～61歳までの計67名が参加

内訳（属性）



グループディスカッションの
メインテーマ



プログラム

10:00-10:10	開会あいさつ、会議の目的や進め方の説明
10:10-10:25	参加者の自己紹介
10:25-11:10 (45分)	資料の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごビジョン2050の概要（「未来を考える100のデータ」抜粋） ・第6次環境基本計画の概要（環境を取り巻く社会・経済情勢、県の環境に関する現状） ・「脱炭素」「自然共生」「資源循環」に関する県の課題や対策など
11:10-11:15	関心のあるテーマごとにグループ分け 各4～5人
11:15-12:00 (45分)	グループワーク1 現状分析と対策案の検討  <ul style="list-style-type: none"> ・2050年の目指す姿・あるべき姿 ・現状分析：何が課題か、何ができていないか ・対策案：何をすべきか、どうしたらそれを解決できるか
12:00-12:15	検討結果の共有（各グループ2～3分）

13:00-13:20	フューチャー・デザインの説明 大阪大学大学院 工学研究科 原圭史郎 教授 学術指導（サポート）
13:20-14:20 (60分)	グループワーク2 将来人として2050年の社会像を描く 将来世代の視点で、2050年の社会像と価値観の変化をイメージする
14:20-14:30	休憩 フューチャー・デザインの手法を取り入れて実施 
14:30-15:30 (60分)	グループワーク3 2024年の世代に施策の方向性とアクションをアドバイスする 将来世代の視点で、2024年の世代が実施すべき対策・施策の方向性とその具体的なアクションを2024年の世代にアドバイスする
15:30-15:50	発表 各グループの提言の共有（各3～4分）
15:50-16:00	まとめ 振り返り、感想や気付きの共有 事後アンケートの記入

Ⅲ ひょうご環境未来会議 実施内容

グループワーク

ワーク1

2050年のあるべき姿とそれに向けた課題と対策案を自由に意見交換

選定テーマ：****

2050年のあるべき姿

自由に意見を出し合う
話題提供の中で気になったことや、さらに知りたいと思ったことから

20分

現状分析（課題）
現状どのような課題があるか
何かうまくいっている点はあるか

25分

対策案
2050年を見据え、2030年までに何をすべきか

ファシリテーターがみなさんの発言の要点をこの枠組みで整理します



フューチャーデザイン

ワーク2

「仮想将来世代」として、2050年の社会像を描く

できごと（2050年から振り返る）

2024 2030 2040 2050

2050年のことを「現在形」で、それ以前のことを「過去形」で話す

2050年の社会像

- 暮らし、ライフスタイル
- 生業、仕事
- まちや社会の構造

環境分野の社会像

- 選定テーマについて

社会への影響（価値観、暮らし、産業・・・）

ファシリテーターがみなさんの発言の要点をこの枠組みで整理します

自分の年齢のまま2050年にタイムスリップし、将来世代の気持ちで考える

2050年の名札を付ける

文章化 例) 2050年の兵庫県では、環境の状況（温暖化、災害、資源問題、生物多様性など）は・・・となっており、私たちは・・・のような生活を送り、・・・といった価値観が社会の中心になっている。・・・といった生業の人が多く、・・・といったまちの姿が普通になっている



ワーク3

「仮想将来世代」の視点で、施策・具体的なアクションを考える

選定テーマの社会像：****

60分

対策・施策の方向性

- 2030年までに実現
- (2040年までに実現)
- (2050年までに実現)

2024年当時の人たちが2030年までに実現すべきこと

明るい未来からのアドバイス
→ 「こうしたほうがいい」

暗い未来からのアドバイス
→ 「これは避けたほうがいい」

50分

2024年の世代へのメッセージ（手紙）

15:20～
10分



3つのテーマに分かれてディスカッション



Ⅲ ひょうご環境未来会議 実施内容

会議の様子

レクチャー



意見交換



発表



Ⅲ ひょうご環境未来会議 実施内容

議論の特徴

- **長期的な視点**から、人材育成や意識改革、技術開発などに強く着目した意見が多く出た
- 「脱炭素」「自然共生」「資源循環」の**相互の関連性を意識**した議論が展開された

ひょうご
環境
未来会議

未来会議の提言は「第6次兵庫県環境基本計画」に、左マークを付して反映予定

主な意見（提言）



脱炭素

- 脱炭素の取り組みを「がまん」ではなく「自分ごと」や「生活の一部」にする★
- 地域だけでなく、企業・学校の単位で脱炭素に取り組む
- 研究・技術開発への積極投資、研究者の待遇改善
- 企業のCO₂排出量開示の義務化



自然共生

- ビル屋上の里山環境など、都会に生き物の棲みかを増やす
- 生活財を自然の素材を活用したものに見直す
- ギビエのPETフードへの活用、給食・学食・社食へのギビエ料理の導入★
- ドローンやセンサーを活用した野生動物の生息数・生息域の把握★



資源循環

- リペアの衣服が個性的で格好いいという意識変革やリペア方法の学習により、リペアの衣服を普及させる★
- 新品の代金や廃棄物の処理費も高くすることで、物を大切に使うようにする
- 企業におけるごみのリサイクル割合の基準を作る
- 自動分別する(入れたくなる)ごみ箱開発

全 般

- 義務教育から段階的に「地球環境」を必須科目に組み込む
- 民間企業や学校、地域住民などの連携を促進する★
- 環境への貢献度で企業を評価する仕組みをつくる
- ノーベル環境賞を創設する

参加者の声



- 自分ごととして考えることができた
- 行政に直接思いを伝えられた
- 関心のない人にもこうした取組を知ってもらうことが大事
- 意見を具体的な施策につなげてほしい